5.7 東京2020オリンピック聖火リレー

東京1964大会から56年を経て、いよいよ東京2020オリンピックが開催されます。熊本地震から4年。「希望の道を、つなごう。」をコンセプトに、聖火ランナーが5月7日（木）南阿蘇村立野地区を力強く走り、希望の道を照らし出します。

当日は、聖火リレー広報車両による応援グッズの配布やパフォーマンス、ゴール地点ではミニセレブレーションも予定されています。沿道での応援で聖火リレーを盛り上げましょう!!

東京2020オリンピック聖火リレーとは？

ギリシャの太陽光で採火された炎をギリシャ国内と開催国内でつなげる聖火リレーは福島県からスタートし、47都道府県を巡ります。熊本県は5月6日（水）～5月7日（木）となり、2日目の5月7日は益城町→南阿蘇村→菊池市→山鹿市→和水町→玉名市→熊本市とリレーを繋ぎます（阿蘇市は特殊区間）。

南阿蘇村の聖火リレールート

- 国道57号の阿蘇口交差点東側～阿蘇立野病院の約2㎞　14区間
- スタート（10：54頃）→ゴール（11：23頃）※交通規制は10時から始まります。
- 聖火ランナーは道路左車線を走ります。

応援者について

- 駐車場は旧立野小学校運動場、旧立野ダム事務所をご利用ください。
- 応援者は、大会関係者の指示に従い、道路左側での応援をよろしくお願いします。

交通規制のお願い

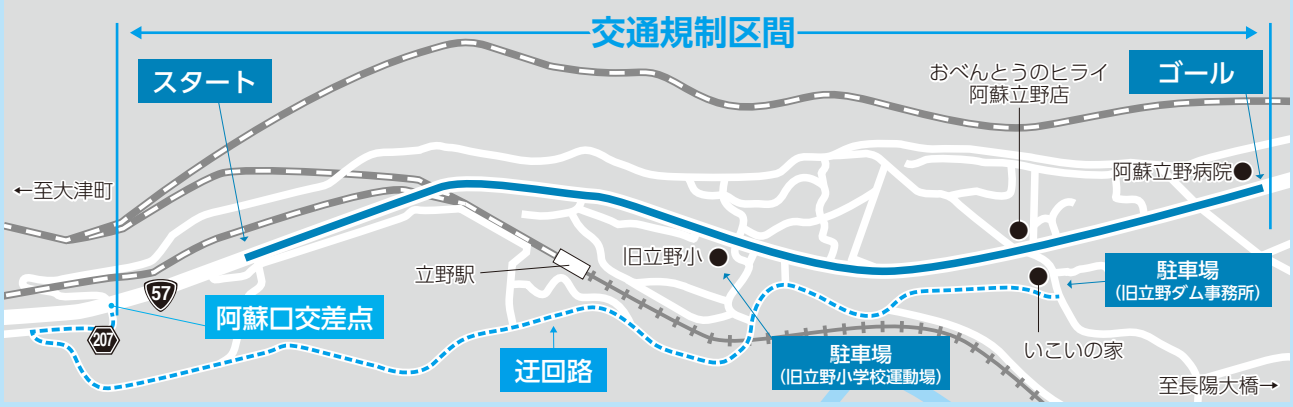
当日は、国道57号の阿蘇口交差点～阿蘇立野病院前を午前10時頃～正午頃まで交通規制を行います。

車両の通行はできません。迂回については係員の指示に従ってください。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

※規制中、国道は関係車両のみの通過となります。迂回ルートをご利用ください（下図参照）。

※車両は国道を横断できませんが、国道下の村道（お弁当のヒライ阿蘇立野店および旧立野小学校付近）は通行可能です。

※規制中、ゆるっとバス（白水ルート3・4便）は国道を通りません。迂回路を通り大津駅南口に向かいます。ご了承ください。



ランナーインタビュー

東京2020聖火リレー熊本県実行委員会枠分の聖火リレーランナー内定者が発表されました。村ゆかりの皆さんに意気込みをお聞きしました。

浅尾 比呂加さん
(第五駐在)

ご自身だけでなく両親、姉弟もバイクに乗るライダー一家。現在、ライダーウェアを作る会社に勤務。

「南阿蘇を盛り上げたい！」という思いで、気づいた時にはランナーに応募していました。熊本地震では実家も被害を受けましたが、聖火リレー当日は、震災の復興の象徴だと思ってもらえるような、元気を与えられるような走りをしたいです。

徳永 知花さん
(白川)

2013年第9回INAS世界陸上選手権大会女子400mリレー金メダル。
現在、はくすい保育園に勤務。

ランナーに決まった時は、一番嬉しかったです。私は体が小さく生まれたのですが、いま同じような境遇のお子さんたちに、「ここまで大きくなったんだよ」と伝えたい。笑顔で、周りの人を元気にさせるよう、頑張って走りたいです。

中尾 有沙さん
(PRランナー(※1))

村立野区出身。走幅跳・三段跳の県記録保持者。2016年に怪我で車いす生活となり、現在は車いす陸上の世界で活躍。

聖火ランナーとして走れることをとてもうれしく思います。三段跳で日本一になるまでを見守り、喜んでくれた人、ケガをしたとき支えてくれた人、車いすでの人生を応援してくれる人、たくさんの人への「ありがとう」を胸に走りたいです！

宮田 鉄平さん
(喜多)

南阿蘇中学校の陸上部に所属。2019年9月の県中学校総合体育大会1年100mで6位入賞(12秒01 自己ベスト)。

おばあちゃんに勧められたことがきっかけで応募して、ランナーに決まった時は嬉しかったけど緊張しました。皆に笑顔になってもらって、「ここまで復興してきたよ」と伝えられたらと思います。当日はゆっくり走りたい。貴重な経験、いい思い出にしたいです。

東海大学(グループランナー(※2))

(上段左から)中山魁仁さん、中川啓也さん、西野駿也さん、河井大明さん、梁池美歩さん　(下段左から)大西翔平さん、永田陸さん、津田航士郎さん、永野智大さん、中内拓海さん

私たちは熊本地震を直接経験していませんが、阿蘇を訪れる度に震災の記憶を風化させてはいけないと感じてきました。この機会に全国の皆さんに向けて復興の進捗状況を伝えられればと思います。

(※1) 都道府県にゆかりのあるアスリートなどから選定　(※2) 最大10人のメンバーで構成されたグループで走行